

1/1
1998

No.952 元旦号

広報

まつど



発行：松戸市 編集：企画部広報課
〒271 松戸市根本387-5
TEL.047-366-1111 FAX.047-363-3200
URLhttp://www.intership.ne.jp/matsudo/
—— 市役所は4日(日)まで休みます。



迎春

江戸川から望む朝日



市議会議員
岡田 脩

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、平成10年の輝かしい新春を清々しくお迎えのことと、心よりお喜びを申し上げます。
さて、二十一世紀が目前に迫っている今、行政のみならず政治や経済のシステムが大きく変わろうとしており、地方自治体を取り巻く諸情勢は誠に厳しいものとなっております。少子・高齢化対策、防災および環境問題対策、福祉の充実等、市民生活に直接影響のある課題が山積しております。また、地方分権化への対応も早急に進めなければならないところであります。

本市におきましても、このような変化に適切に対応しながら、すべての方が、いきいきと暮らせる二十一世紀の新たな町づくりを目指し、さまざまな施策を展開していかねばなりません。
昨年は、地方自治制度が日本国憲法と同時に施行されて五十周年の節目の年でもありました。私も市議会議員も、これを機に皆様方と共に手を携え、自主性と自立性に立脚した地域社会づくりに向けた決意で望むものです。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
年頭にあたり、市民の皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



市長
川井 敏久

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
さて、二十一世紀を目前にした今日、わが国は大きな転換期を迎え、行財政をはじめさまざまな分野で、抜本的な構造改革が進められています。本市におきましては、皆様のご理解、ご協力を頂き、行政リストラ実施計画に基づいて事務事業全般にわたって見直しを図っているところですが、いよいよ計画の最終年度を迎えます。
また、今年には、本州市制施行五十五周年の節目の年に当たるわけですが、二十一世紀のまちづくりの指針となる新総合計画のスタートの年でもあり、さらには、五香西に整備中の松戸市健康福祉会館もこの春オープンとなります。まさに新しい年の幕開けという感があり、年頭に当たり身の引き締まる思いがいたします。
私は、子どもからお年寄りまですべての市民の皆様が、いきいきと暮らせる安全で安心なまち、緑と清き流れの「ふるさと松戸」の実現をめざし、全力を尽くして参る決意です。本市の発展に向けて、引き続き、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を衷心より祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

新春対談

人間慶喜を語る

今年のNHK大河ドラマは「徳川慶喜」です。慶喜公は、悲劇の将軍と呼ばれるくらい前半生では苦勞の連続だったようです。その慶喜公ゆかりの地は松戸にもあります。それは、最後の水戸藩主・徳川昭武公が築いた戸定邸。今年の対談は、慶喜公に日ごろから深い思いを寄せている方々をお招きし、その人間像と魅力を語っていただきました。

出席者

徳川 慶朝	プロカメラマン 徳川慶喜家第四代当主
河合 重子	慶喜研究家
高橋 幸作	NHK大河ドラマ「徳川慶喜」・ チーフプロデューサー
市長 川井 敏久	
司会 小村 武	(戸定歴史館館長)

徳川慶喜公の履歴

1837年、水戸藩第九代藩主斉昭の七男として江戸の水戸藩邸に生まれる。11歳で一橋家の養子となり家督を相続。慶喜と名前を改める。

30歳で徳川宗家を相続し、後に15代征夷大将軍に任じられる。翌年、大政奉還。将軍職を辞す。32歳の時、鳥羽伏見の戦いの最中に、大阪より海路江戸へ戻り謹慎。33歳で謹慎を解かれる。このころから写真、釣り、油絵とさまざまな分野に興味を示し、多才ぶりを発揮する。松戸にもたびたび訪れ、風景や身近な人々を撮影した作品を多数残す。66歳で公爵を授かり、徳川慶喜家を起こす。77歳で没(旭日桐花大授章を授かる)。東京・谷中の墓地に葬られる。

(年齢は数え年)

松戸市は、NHK大河ドラマ「徳川慶喜」の制作にあたり、資料提供と時代考証に協力しています。

松戸市の印象は

市長 明けましておめでとうございませう。

今年、明治維新から百三十年目に当たり、また、NHK大河ドラマでは「徳川慶喜」が放映されます。その慶喜公は、実の弟昭武公が住んでいた戸定邸を幾度となく訪れています。

そこで今日は、慶喜公の人間像と魅力についてお話をさせていただきます。

司会 最初に、松戸市との関わりや戸定邸の印象などをお聞かせ

いと思います。

徳川 戸定歴史館がまだ準備室だったころ、学芸員の方から慶喜の写真について調べたい、というお手紙をいただきました。お会いして話を聞いてみると、歴史館は設備もきちんとしているし、職員の方々が勉強熱心で信頼できると思いました。それで写真や資料などをお預けしているんです。

実際に来てみると公園や建物もすてきなもので、現在もよく寄らせていただいています。

戸定邸も外見からは分かりにくいですが、建築学上、素晴らしい評価を得ています。非常に魅力的ですね。

市長 徳川さんには、大事な資料を提供していただいております。

市民に公開でき、大変喜ばれています。感謝しています。

高橋 「戸」がつく町は全国各地にありますね。江戸があり水戸があり松戸があると、今度の慶喜公の話をするにあたって、結構縁があるんじゃないかなと思っています。

松戸に来たのは今日が二度目です。最初に来たのは、「徳川慶喜」放映の関係で徳川さんにお会いし、ご了解をいただくためで、待ち合わせをしたのが戸定邸でした。大河ドラマに限りませんが、比較的近世の人物を扱うときは、その関

係者の方々の快い了解と理解がないとできません。徳川さんには快く了解していただきました。

戸定邸は、明治時代に建てられたと聞きましたが、非常にきれいに保存され、管理も行き届いていて、お庭の見事さや建築資材のすばらしさなど、いろいろなことに感心しました。

仕事柄、よくドラマのロケ地を探したりしますが、なかなかこれは、という所がなく苦勞するんです。ちょっと昔の設定のドラマなんかで、ぜひ一度ロケーションさせていただければと思っています。

やまさせていたいただきました。

家扶日記は昭和三十年代の終わりに古書展に出品されていたのを購入したので、何しろ四十五冊もあって読み切れない

だろうし、私も高齢なので、これからはどうなるのかも分からないし、何とかしたいという気持ちがあります。それで戸定歴史館に収めるのが一番だと思っております。私としても肩の荷が下りるし、家扶日記にとっても一番所を得た



行政にもロマンをもって
市長 川井敏久



最高の理解者はわたしです
徳川慶朝氏

市長 わたしは松戸で生まれ育ちましたが、松戸でも昔のたまたまいものがほとんど失われています。その中で、残された戸定邸は貴重なものと思っています。お役に立てたいですね。市民も期待していると思います。

河合 私の場合は戸定歴史館の学芸員さんが自宅に来られ、徳川慶喜家扶日記をお見せした時からのお付き合いです。歴史館の展覧会にもお誘いいただき何度かお

います。司会 市長は大河ドラマ放映を契機に、何か期待することはありますか。

市長 二十世紀を迎えようとして育った人が増えていきます。定住化もかなり進んでいて、「ふるさと松戸」という意識の高揚が必要だと



慶喜公がたびたび訪れた戸定邸を訪ねる

痛感しています。大河ドラマを機として慶喜公や昭武公に対する関心も高まっています。こういう機会を通して市民の皆さんに、昭武公や戸定邸について理解を深めていただきたいと思います。と同時に全国の皆さんにも松戸市の顔の一つとして、紹介していきたいと考えています。



戸定邸にて

慶喜公との出会い

司会 徳川さんは最近本を出版されていますが。

徳川 徳川家の家系のことなどいろいろ聞かれるんですが、「徳川慶喜家よろこそ」には私の知る限りの徳川家のことをすべて書きました。

もう一冊は、戸定歴史館の研究員の方に解説や読み下しをしてもあったもので、父齊昭が慶喜にあってた百二十五通の書簡についての本です。内容は、期待の息子に帝王学を授けている趣いものです。

市長 「徳川慶喜家よろこそ」の中では、戸定邸や歴史館について高い評価をいただいております、うれしい限りです。

河合 女学校の一年生を終わる時だったと思いますが、卒業生を送る会で「將軍江戸を去る」という劇があったんです。そのせりふの中に、「將軍職に据わった慶喜の苦勞を、そちらは気の毒に思わぬのか」という一節がありました。

將軍の苦勞なんてことは全然知らないし、どういう方なんだろうと思いました。その時ほど慶喜公の全体像を追い求めた時期はありませんでした。また、慶喜公のことを調べたい一心で東京女子大学の歴史科に、入学しました。

司会 そのままで夢中にさせた理由は何だったんでしょう。



慶喜公と出会えて幸せでした
河合重子氏

河合 一種のファンみたいなのなんですよ。慶喜公は徳川幕府の幕を引いた悲劇の將軍です。

歴史の評価からすると、天狗党の事件とか、鳥羽伏見の戦いの最中に江戸に戻ってしまったとか、良い評価ばかりではありませんが、江戸城を無血開城したことは、国全体を見直しながら、頭の中にあつたのは常に日本国民全体のことだったというので立派な人だと思ふのです。將軍を退いた後も、人間としての生き方がきちっとしているということ。やはり人間的に優れた方だと思います。

司会 徳川さんは慶喜公に対して、自分以上の理解者はいない、と本に書いていますか。

徳川 理屈は分かりませんが、直感ですね。考え方や物に対する好奇心の抱き方、写真やグルメなど、共通するものがたくさんあり、自分でも気持ち悪いことがあります。親子とか兄弟とか、似た部分って結構ありますよ。

司会 高橋さんにお聞きしますが、今なぜ徳川慶喜なのでしょう。高橋 幕末の当時と今と、何か似ているものを肌で感じたんです。いろいろな意味での変革期ですね。近代史における変革期は明治維新、終戦、三番目が今。そういうこともあって、日本の近代の出現でもある明治維新、幕末あたりでもや



後半生にも魅力を感じます
高橋幸作氏

慶喜公から学ぶこと

徳川 人間、どうしても將軍だからとか、家長だから偉いと考えがちですが、自分のことよりも、皆の幸せというものをいかに大切に思ったかということ。われわれが一番学ぶべきことだと思いますね。

河合 私もそう思います。それと、常に国民が中心なんだ、という信念を貫き通したことがじゃないでしょうか。

私の生活の中で一番楽しい時間



明治22年戸定邸で (一番左が慶喜公、後列中央が昭武公)

は慶喜公に関する本を読んでいるときなんです。慶喜公に関心を持ったことは幸せだったと思います。高橋 学ぶもので言うと、人間の幸せって何だろうということ、將軍職を辞した後半生で身をもって実証されたということではないか。

今回のドラマは前半生ですが、ぜひ、後半生の方もやってみたいなという思いにかられますね。そのときも、主役は本木(雅弘)君で、ロケ地の一つとして戸定邸でやってもいいですね。

行政にもロマンを

市長 幕末と今と、厳しい環境の中というのは類似しています。困難な状況だからこそ、時代の流れを読む力や勇気と実行力などが求められるんですけれども、国民全体を考えていた慶喜公には、心の暖かさというか、今で言うなら福祉的な視点、おらかな中に人間愛というのを感じますね。

私も地方行政にあたる者として、常に愛とロマンを描きながら取り組んでいきたいという思いを新たにしています。

司会 今日はどうもありがとうございました。

- 55 4 松戸三郷有料道路が開通
- 5 市の人口が40万人を突破
- 6 県下初の障害者福祉都市の指定を受ける
- 56 5 市民劇場が完成
- 57 4 第1回松戸マラソンを開催
 - 東北新幹線・上越新幹線が開業
- 58 1 消防局新庁舎が完成
- 10 市役所の窓口業務がオンライン化
- 59 4 自転車放置防止条例を施行
- 60 7 厚生省からヘルスバイオアタウンに指定
- 12 松戸駅西口地下駐車場が完成
- 61 2 松戸駅西口デッキが完成
- 2 戸定邸の庭園が県の文化財(名勝)に指定
- 4 夜間急病救急医療システムがスタート
- 8 松戸駅構内の東西自由通路が完成
- 62 7 県立西部図書館が開館
- 8 常盤平「さくら通り」が日本の道100選に
- 63 2 房総の魅力500選に「矢切の渡し」などが入選
- 3 市営白井聖地公園の第1回公募
- 5 県旅券事務所東葛飾分室がオープン
- 6 坂川が国の「ふるさとの川モデル事業」のモデル河川に
 - 青函トンネル・瀬戸大橋が開通
 - 昭和天皇崩御

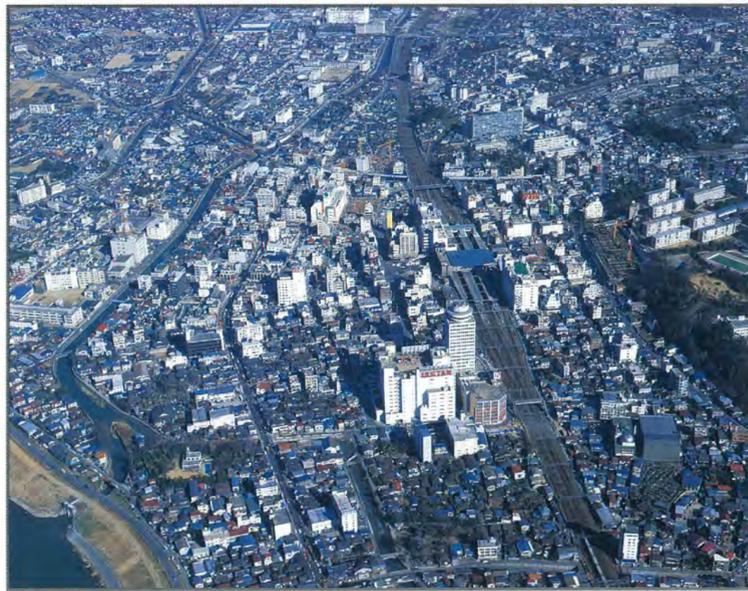
- 平成
- 元 (1989年)
- 4 電子計算機処理に係る個人情報保護条例を施行
 - 消費税が導入
 - 2 3 跡まつど街と水辺の緑化基金を設立
 - 4 松戸駅西口広場に仕掛け時計「夢飛行」設置
 - 4 松戸市国際交流協会を設立
 - 6 中学校給食が始まる(7月6月から全校で実施)
 - 12 図書館全館がオンライン化
 - バブル経済の崩壊(株価暴落)
 - 3 3 北総開発鉄道新鎌ヶ谷～高砂間が開通
 - 6 松戸市女性行動計画を策定
 - 11 戸定が丘歴史公園がオープン
 - 4 12 「川をきれいにする条例」を制定
 - 5 4 市民憲章を制定
 - 4 平和基金の創設
 - 4 中央保健センターがオープン
 - 4 市制施行50周年記念式典を開催
 - 4 市立博物館がオープン
 - 4 21世紀の森と広場がオープン
 - 10 市立福祉医療センター東松戸病院が診療開始
 - 11 森のホール21がオープン
 - 6 3 北小金駅南口に「ピコティ」誕生
 - 3 国分川分水路が完成
 - 4 第5次5か年計画がスタート
 - 4 松戸市福祉公社を設立
 - 6 中央在宅介護支援センターが開設
 - 6 幸田貝塚出土品が国の重要文化財に
 - 10 自然生態園が21世紀の森と広場内に開園
 - 10 すぐくサポート21がスタート
 - 12 常盤平「けやき通り」が新・日本街路樹100景に
 - 7 4 公文書公開制度がスタート
 - 4 行政リストラ市民会議最終提言提出
 - 10 江戸川松戸フラワーライン整備事業がスタート
 - 10 和名ヶ谷クリーンセンターが本格稼働
 - 11 行政リストラ実施計画の策定
 - 8 4 すぐやる課女性チーム「ユニ21」が発足
 - 4 外国人相談窓口を開設
 - 5 ホワイトホース市と姉妹都市提携に再調印
 - 5 和名ヶ谷スポーツセンターがオープン
 - 7 新松戸・六実支所にテレビ電話を導入
 - 7 「柴又帝釈天界隈と矢切の渡し」が日本の音風景100選に
 - 8 松戸花火大会が4年ぶりに復活
 - 10 ハケ崎消防署が開署
 - 9 3 松戸市のホームページを開設
 - 4 大谷口歴史公園が開園
 - 4 地域防災無線を開局
 - 7 乳幼児健康支援サービス事業(ひよこ保育園)を開始
 - 7 柳原排水機場が完成
 - 10 まつどファミリー・サポート・センターが活動開始
 - 10 女性消防団員が誕生
 - 11 第8回女性問題全国都市会議を松戸市で開催

- 10 (1998年)
- 4 市制施行55周年を迎える
- ※平成5年以降の主な事業は6・7面に掲載

今年、松戸市は55歳

松戸市のあゆみ

1943年～1998年



松戸駅周辺(昭和35年、11月から)
常盤線は徐々に駅となり、新しくなっています(昭和46年完成)。高層ビルも目立ち始めましたが、松戸駅西口デッキはまだありません。



武蔵野線新松戸～西船橋間開通式典(昭和53年 新松戸駅)
新松戸～府中本町間は、一足早く48年に開通しています。新松戸駅は、その時に開業しました。



戸定が丘歴史公園(平成3年)
戸定邸、松戸徳川家に関する資料を展示する戸定歴史館、茶室などに利用できる松雲亭を中心に、歴史を味わいながら憩える公園です。「戸定歴史館」も同時に開館しました。



市制施行50周年記念式典(平成5年)
平成5年4月、記念式典が運動公園体育館で行われました。この年は、21世紀の森と広場、市立博物館、森のホール21など次々にオープンし、施行50周年を祝いました。



第4回松戸まつり(昭和52年 松戸駅西口広場特設舞台)
第4回松戸まつりが行われた52年は、市制施行35周年記念事業が行われた年でした。



中学校給食始まる(平成2年)
2校で始まった中学校給食。弁当併用・メニュー選択方式による学校給食は、松戸方式と呼ばれ、全国で初めて採用された方式でした。



栗ヶ沢公園庭球場が完成(昭和47年)
落成式の様子です。翌48年に千葉県で開催された若潮国体では、この庭球場がテニス競技の会場になりました。



新京成線の開通式典(昭和30年 松戸駅)
旧陸軍演習線を利用して建設され、市内には8駅が設置されました。



大規模団地の入居風景(昭和35年 常盤平団地)
大規模団地の造成はそれまでの松戸の風景を一変させました。団地内には学校や公園、商店もつくられ、新しい街の生活が始まりました。



新国道建設(昭和31年 岩瀬付近)
国道6号のバイパス工事現場。まだ自然が多く残っています。千葉大園芸学部グラウンド下のトンネル工事の完成で、第一期工事が終了したのは36年7月でした。



団地の入居風景(昭和44年 小金原団地)



団地の入居風景(昭和44年 小金原団地)

松戸市は戦時下の昭和18年、産声をあげました。戦後の政治・経済の混乱期。大規模な住宅団地が次々と造成された人口急増期。石油ショックやバブル崩壊による経済の停滞期。時代とともにさまざまな歴史が刻まれました。今年四月、松戸市は市制施行五十五周年を迎えます。松戸の歩みを振り返ってみましょう。

町村のころ(明治から昭和18年)
明治時代の松戸は、日本水戸街道が国道となり、江戸川の水運も盛んで、交通の要衝として発展を続けました。また、東葛飾郡役所も置かれました。明治22年町制制が施行され、松戸市域には松戸町・町村・八柱村・馬橋村・高木村・小金町が誕生しました。29年土浦・山崎間に日本鉄道海岸線(常磐線)が、大正5年には馬橋・流山間に流山軽便鉄道が開通、昭和2年葛飾橋が鉄橋に架け替えられるなど道路の整備も進みました。昭和8年松戸町と町村が、13年には八柱村と合併、市制施行への機運が高まります。そして18年4月1日、松戸町と馬橋村、高木村が合併し、松戸市が誕生したのです。施行時の人口は四万四千三百三十三人でした。

市制施行後
終戦後のインフレや政治・社会体制の不安定で、誕生間もない松戸市の都市づくりは、始まりませんでした。戦後の混乱期をようやく抜け出した29年、小金町と合併。人口も六万六千七百九人となり、その後の発展への足掛かりとなったのです。30年4月、新京成電鉄松戸～津田沼間が開通。常盤平団地の入居が始まったのは35年4月でした。このころから松戸市は、人口急増の時代を迎えます。小金原団地が造成されるなど、40年代に入っても人口急増は続き、市では学校建設、道路整備、環境衛生施設の整備などの対応に追われました。46年常磐線が複々線化、48年には武蔵野線新松戸～府中本町間が開通するなど交通網も充実しました。激しかった人口急増の歪みを是正するため計画的な都市づくりが推進されました。49年から始まった五次にわたる5か年計画で、河川の整備や下水道交通、公園などの社会資本の整備、教育や福祉、文化施設の充実などが行われ、着々と近代都市へと生まれ変わりました。

首都圏の生活都市として成長してきた松戸市は、平成5年、市制施行五十周年を迎えました。21世紀の森と広場、市立博物館が4月にオープン、11月には森のホール21が開館しました。7年には、行政リストラ市民会議からの提言を受け事務事業を全面的に見直すなど、「次代を担う子どもたち」の未来を、緑花清流による松戸の創生」を目指して、私たちの松戸は、着実に歩んでいます。

- 昭和
- 18 (1943年)
 - 4 松戸町・高木村・馬橋村が合併し、県下7番目の市として松戸市が誕生
 - 20 ○太平洋戦争が終結
 - 21 4 市立国民学校が市立小学校と改称
 - 22 4 6・3制男女共学の新学制制度施行により市立中学校が閉校
 - 9 キャサリン台風により江戸川が大洪水に
 - 日本国憲法施行
 - 24 5 千葉農業専門学校が千葉大学園芸学部になる
 - 6 松戸電報電話局が開局
 - 6 常盤線松戸～取手間が電化
 - 11 第1回松戸市文化祭を開催
 - 26 4 徳川武定氏が戸定の土地、屋敷(現戸定邸)を市に寄付
 - 12 中部小学校に市立図書館を開設
 - 27 5 北松戸駅が競輪開催日停車の仮駅として開設
 - 28 6 松戸～浅草間に京成バス運行開始
 - 29 7 徳川邸を文化施設「戸定館」として開館
 - 10 旧小金町の大部分を松戸市に編入
 - 11 消防本部・消防署制度が発足
 - 11 市政協力委員制度が発足
 - 30 4 新京成電鉄松戸～津田沼間が開通
 - 31 4 沼南村(現沼南町)の一部高柳・高柳新田地区を松戸市に編入
 - 日本が国際連合に加盟
 - 33 12 北松戸駅が常設駅に
 - 34 5 市役所が根本(現在地)に移転
 - 皇太子(現天皇)ご結婚
 - 35 4 北松戸工業団地の造成工事が始まる
 - 4 常盤平団地の入居開始
 - 36 7 国道6号松戸バイパスが開通
 - 37 4 常盤平支所を設置
 - 38 4 県道松戸流山線が開通
 - 39 12 市民会館が完成
 - 東海道新幹線が開通
 - 東京オリンピックが開催
 - 41 ○日本の人口が1億人を突破
 - 42 6 消防本部と中央消防署の合同庁舎完成
 - 7 移動図書館「みどり号」が巡回開始
 - 8 国保松戸市立病院が小山から上本郷へ移転
 - 43 5 市の人口が20万人を突破
 - 44 5 日曜当番区制度が発足
 - 5 小金原団地の入居開始
 - 10 すぐやる課が誕生
 - 東名高速道路が全線開通
 - 45 5 養護老人ホーム松風荘が開所
 - 8 県下初の市立林間学園を軽井沢に開設
 - 9 県立松戸養護学校が開校
 - 万国博覧会が大坂で開催
 - 46 2 松戸駅新駅舎が完成
 - 4 常盤線複々線化・千代田線が乗り入れ
 - 5 オーストラリア・ボックスヒル市(現ホワイトホース市)と姉妹都市提携
 - 8 運動公園に武道館とプールが完成
 - 10 市川川松戸有料道路が全線開通
 - 47 2 栗ヶ沢公園庭球場が完成
 - 5 最初の市民センターを常盤平に開設
 - 11 第1回市民運動会を開催
 - 冬季オリンピック札幌大会が開催
 - 沖縄が日本に復帰
 - 48 4 市の人口が30万人を突破
 - 4 武蔵野線新松戸～府中本町間が開通。新松戸駅が開業
 - 10 千葉県国民体育大会(若潮国体)。松戸では庭球と自転車競技を開催
 - 第1次石油ショック
 - 49 2 市立図書館本館の新館オープン
 - 4 第1次総合5か年計画がスタート
 - 4 伊勢丹松戸店が開店
 - 5 第1回こども祭りを開催
 - 10 第1回松戸まつり(従来の産業まつりを改称)を開催
 - 50 4 市立松戸高校が開校
 - 51 4 総合福祉会館が完成
 - 52 1 松戸市長期構想を決定
 - 4 休日夜間急病診療所がスタート
 - 7 休日歯科診療所がスタート
 - 53 4 ゴミの4分別収集が始まる
 - 10 武蔵野線新松戸～西船橋間が開通し、全線開通



福祉公社の家事・介護援助サービス

平成6年

（財）松戸市福祉公社を設立（6年4月）

6年10月1日からサービスを開始しました。高齢者や障害を持つ人が、住み慣れた地域で安心して暮らすのに必要な家事・介護援助などを、地域の人たちの参加と協力により、有償で提供しています。

中央在宅介護支援センターが開設（6年6月）

専門職員が365日、24時間体制で、自宅で介護を必要とする高齢者がいる家庭の介護に関するさまざまな相談に応じています。



休みの日には備え付けの望遠鏡がフル活動

すくすくサポート21がスタート（6年10月）

北松戸保育所でスタートした、すくすくサポート21。育児相談・育児サークルの紹介や活動の支援・育成など活発な活動をしています。

自然生態園を開園（6年10月）

自然生態園は、21世紀の森と広場の中で、今でも千駄堀の原風景が残されている地区に設けられました。園内の自然観察舎では、野鳥観察などができます。



憩いの場として定着しています

21世紀の森と広場がオープン（5年4月）

50.5ヘクタールの自然尊重型の総合公園。休日などは家族連れでにぎわいます。

平成5年

市立福祉医療センター東松戸病院が診療開始（5年10月）

市内2番目の市立病院で、高齢化社会に備えた在宅ケアの支援とともに、質の高い一般診療を目指しています。

市立博物館がオープン（5年4月）

松戸市の貴重な歴史・文化遺産を展示する、市民生活に密着した親しみやすい博物館です。



「見て・触れて・体験できる」博物館



病院の付帯施設として老人保健施設梨香苑を併設しています

平成7年



六実支所に導入されたテレビ電話

支所機能の充実（7年4月）

支所では、市政に関する相談や要望も受けようになりました。8年7月から支所に順次テレビ電話を導入。取り扱い業務も拡大し、機能強化を図っています。



森のホール21

森のホール21がオープン（5年11月）

21世紀の森と広場の一角に建てられた森のホール21。「見る・聴く・学ぶ・創る・集う」をテーマに、幅広く利用されています。



避難所体験

地域分散型防災訓練の実施（7年8月）

7年の訓練からは、阪神・淡路大震災を教訓に、会場型から地域分散型にすることによって、より地域と密着した防災訓練としました。

公文書公開制度がスタート（7年4月）

より開かれたクリスタルな市政の実現を目指し、市民の皆さんの請求に応じて、市の持っている公文書を公開する「公文書公開制度」がスタートしました。

和名ヶ谷クリーンセンターが完成（7年9月）

市内で3番目の清掃工場「和名ヶ谷クリーンセンター」が完成し、7年10月から本格稼働を始めました。1日当たり300トンの処理能力を持つ清掃工場です。



最新の公害防止対策を採用しました

江戸川松戸フラワーライン整備事業がスタート（7年10月）

江戸川を皆さんの親しめる水辺とする活動の一つとして始まった「江戸川松戸フラワーライン整備事業」。市民の皆さんと一緒に種をまきました。春にはレンゲ、秋にはコスモスの花畑になります。



松戸の新しい名所になりました

行政リストラ実施計画の策定（7年11月）

社会環境の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応し、市民の皆さんがより生き生きと満足して暮らせることを目的に策定されました。この計画に基づいて、道路緑花への市民参加・支所にテレビ電話を導入・広報まつどの月3回発行・外国人への相談事業の新設・まつどファミリーサポートセンター事業の新設・福祉公社によるホームヘルプサービス事業の拡大などが実施されました。



夜9時まで利用できる温水プール

和名ヶ谷スポーツセンターがオープン（8年5月）
和名ヶ谷クリーンセンターの余熱を利用した温水プールや体育室など健康の増進や体力の増強の場として利用されています。



軽快なフットワークが信条

すぐやる課女性チーム「ユニ21」が発足（8年4月）
松戸市の看板すぐやる課に、女性チーム「ユニ21」が誕生しました。きめの細かい視点とソフトな感覚からも街をチェック。地域の問題や要望を掘り起こしていきます。

柳原排水機場が完成（9年7月）

6年3月、国分川分水路が完成しました。9年7月には分水路最下流部の柳原排水機場も完成、竣工式が行われました。多くの困難を乗り越えての完成で、「水害のない街」に大きく前進しました。



周辺には柳原親水広場と水閘が整備されました（写真下方が柳原水閘）

地域防災無線を開局（9年4月）

災害対策本部を中心に、警察をはじめとした防災関係機関などを相互に結ぶ双方向の情報ネットワークです。



一時的にお子さんを預かるひよこ保育所

乳幼児健康支援デイサービス事業（ひよこ保育園）が開始（9年7月）

病気回復期にあって、保育所（園）や家庭における保育が困難な乳幼児を対象に、一時的な保育を行います。

まつどファミリー・サポート・センターが活動開始（9年10月）

育児の相互援助活動を行う会員組織で、センターのアドバイザーが地域リーダーとともに、提供会員と利用会員との間で、児童の送迎や預かりなどのあっせん・調整をします。

女性消防団員が誕生（9年10月）

サラリーマンが増加し、消防団を担っていた農家や自営業者が減少するなど団員の確保が難しくなっていた消防団に、新しい力として女性消防団員30人が任命されました。

女性問題全国都市会議・まつど女性のつどい'97の開催（9年11月）

女性問題解決のための施策について研究・討議を行うもので、松戸から全国にメッセージが発信されました。



全国から2500人が集まりました

平成10年



広域防災活動の拠点となります

千葉県西部防災センター（仮称）を建設中

千葉大学園芸学部附属農場跡地に千葉県西部防災センターの建設が進められており、10年6月にオープンを予定しています。

同地には、松戸警察署が移転されるほか柿ノ木台公園が拡張され、コミュニティ体育館が建設されます。



10年4月下旬の公開（予定）が楽しみです

戸定邸の復原工事

既に取り壊され現存しないとされていた「使用者の間・従者の間」が発見され、その復原工事が進められています。



北総開発鉄道との乗り換えができます

JR東松戸駅の開業

北総開発鉄道東松戸駅に接続してJR武蔵野線の新駅が、10年3月に開業予定です。エレベーターやエスカレーターを備えた福祉面にも配慮した駅になります。

松戸市健康福祉会館を建設中

保健・医療・福祉サービスの連携を図るため、五香西に建設中です。子ども発達センター、障害者福祉センター、常盤平保健センターが入る施設で、10年4月開館の予定です。



保健と医療と福祉を支える施設になります

平成8年



30万人が美しさに酔いました

松戸花火大会が復活（8年8月）

「みんなであげる夢花火」をキャッチフレーズに、江戸川河川敷で松戸花火大会が、4年ぶりに復活しました。

八ヶ崎消防署が開署（8年10月）

この開署によって、消防体制がさらに強化されました。



市内10番目の消防署となりました

このクイズは
むずかしいぞ!?

ナンクロクイズに ナンバークロス 挑戦



クロスに出ている文字と数字をヒントに、マス目を埋めてください。同じ数字(番号)には同じ文字が入り、上からも左からも意味のある言葉になるようにします(小さい「つ・や・ゆ・よ」は大きい「つ・や・ゆ・よ」と同じ番号です)。
クロスの下の答えの欄にあるマスの8文字をつなげた言葉をあててください。
わかった人は下のあて先までドシドシご応募ください。正解者の中から抽選でA賞からC賞までのいずれかのステキな賞品をプレゼントします。

1	2	3	4	5	6	11	7	3	4	
ト	ジ	ヨ	ウ	テ	イ					
10	12		13	9	3	4		14	15	11
										ミ
6	7	16		16	10	9	7		16	6
										ト
	3	17	18		9		14	19	15	20
										ハ
26		22	22	2		16	15	9		23
										ン
22	18	7		13	10	9		7	16	7
21		24	15		11		28	3	15	28
	25		10	7	シ	13	17		4	10
										11
26	7	16		3	ヨ	15	7		23	22
										7
17	23		22	4	ウ	11	18		25	16
										3
6	18	2		8	グ	15	3	4	7	24
										4
12	27		13	9	ン	19		28	12	21
										4
	ム	口								

答え	1	18	11	19	3	7	25	23
----	---	----	----	----	---	---	----	----

A賞

園田高弘

園田高弘ピアノ・リサイタル

1/25(日)午後2時開演
森のホール21大ホール

曲目/ベートーベン: ピアノソナタ
第21番「ワルトシュタイン」ほか

5組10名

B賞

音楽監督・ピアノ 仲道郁代

森のホール21国際音楽祭

3/8(日)午後2時開演
森のホール21大ホール

曲目/ブラームス: クラリネット三
重奏曲ほか

5組10名

'98東葛六市長 新春に語る



昨年の「東葛六市長新春に語る」より

松戸・柏・鎌ヶ谷・我孫子・流山・野田
の各市長が市政を語ります。

1月2日(金)午前9時30分～10時55分
千葉テレビ (UHF46チャンネル)



あて先はこちらだよ
応募まってます。

<あて先>

1月13日(火) [消印有効]までに、
ハガキに右記の要領で記入して、〒271松戸市根本387の5
松戸市役所広報課パズル係へ

※当選者の発表は賞品の発送を
もってかえさせていただきます。
また、パズルの解答は2
月5日号の広報まつどでお知
らせします。

<応募要領>

1. 答え (8文字のカタカナ)
2. 希望賞品名
3. 住所
4. 氏名
5. 年齢
6. 職業
7. 広報まつどに関する
ご意見など

C賞

戸定グッズ
松戸徳川
本てぬぐい
(2枚組)

10名

※ABC賞にはずれた人の中
から抽選で四十名に粗品をお送
りします。